

# 兵庫県Webセキュリティ実態調査 2026

## 外形セキュリティ実態調査 — 主要結果のまとめ

**母集団** gBizINFO登録・兵庫県内の企業HPを持つ事業者 / **サンプル数** n = 307 (収集 351 件)  
**調査時点** 2026-06-07~2026-06-09 / **方式** パッシブ集計 (外形・匿名)  
公開情報 (DNS・HTTPレスポンスヘッダ・TLS証明書情報・公開HTML) のパッシブ参照のみで作成。個別サイト・組織を特定する情報は含みません。

### 1 要点

Webサイトの安全対策は、その多くが高度な脆弱性ではなく「設定の有無」という基本項目に集約されます。なりすましメール対策・通信の暗号化・ブラウザに伝える安全設定 (セキュリティヘッダ) は、正しく設定されているかどうか外から見えてしまいます。本調査では、地域の事業者サイト307件を外形的に集計した結果、**なりすましメール対策 (DMARC) が未設定のサイトが55.1%、セキュリティヘッダ (CSP) が92.5%のサイトで欠落している**ことが分かりました。いずれも特定の企業を批判するものではなく、県内全体の底上げを目的とした匿名・集計の結果です。

### 2 全体結果 (主要指標)

#### なりすましメール対策の未対応率



#### 通信・Cookie ほか



#### セキュリティヘッダの欠落率



出典: JIISセキュリティラボ サイトドック外形調査 (n=307・2026-06-07~2026-06-09・パッシブ集計)。分母は判定できたサイトのみ。

### 3 読み取れること

SPFはレンタルサーバ等の初期設定で入ることが多く普及している一方、自ら設定・運用する必要がある DMARCは半数超が未設定でした。セキュリティヘッダは、1行で安全に追加できる項目でさえ大半が欠落しており、これは技術的な難易度ではなく「存在が知られていない」という認知の問題と考えられます。HTTPS化は普及しつつあるものの、常時HTTPSを強制するHSTSは8割超が未設定で、「証明書は入れたが仕上げが残っている」状態が多く残ります。

### 4 完全版レポートに収録

本ダイジェストは主要結果の抜粋です。完全版レポート (無料) には、以下を収録しています。

- ✓ 地域別・主体別のブレイクダウン (神戸市 / 尼崎市 / その他 ほか)
- ✓ 自己点検チェックリスト30項目 (自社の外形状態をその場で採点)

- ✓ 統合対策リファレンス（nginx/Apache/WordPress/DNSの対応要点）
- ✓ 調査の方法と限界の詳細

## 5 自社サイトを確認する

### 完全版レポートを無料ダウンロード

<https://sitedock.jp/research>

地域別分析・チェックリスト30項目・対策リファレンスを収録。

### 自社サイトの「外から見える」状態を無料で確認

サイトドック（無料健診）：<https://sitedock.jp/>

URLを入力するだけ・登録不要。なりすましメール対策やセキュリティヘッダの状態を点検できます。

【本調査の方法と限界について】本調査は、公開されている情報（DNSレコード・HTTPレスポンスヘッダ等）を外部から参照するパッシブな方式のみで実施しました。サイトへの能動的な検査（ポートスキャン・脆弱性検査等）は一切行っていません。したがって本結果は「外から見える範囲」の状態を示すものであり、各サイトの実際の安全性そのものを断定するものではありません。DKIM等、外形からの判定が困難な項目は対象外としています。本結果は調査時点（2026-06-07～2026-06-09）のもので、個別のサイト・組織を特定する情報は含まず、集計値のみを公表しています。サンプルは兵庫県内・gBizINFO登録事業者という地域・属性に偏った母集団であり、全国や他業種にそのまま一般化できる値ではない点にご留意ください。

本調査は、日本情報基盤サービス株式会社（JIISセキュリティラボ）が実施しています。

日本情報基盤サービス株式会社 / JIISセキュリティラボ（〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1-2-1-204） [www.jiis.co.jp](http://www.jiis.co.jp) / [sitedock.jp](https://sitedock.jp)